

3. 北関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (北関東)	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	百貨店（販売担当）	来客数の動き	・改装を行い、新しい客が増たため、やや良くなっている。
		スーパー（経営企画担当）	販売量の動き	・少しずつではあるが、買上点数が上がってきている。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・梅雨入りしたが、当地域は比較的雨が少ない。晴天が続いて温度が高いこともあり、外部環境によって来客がまだ増えている。
		自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・普段と比べて、販売量はやや多く動いている。要因はエコカー購入補助金なども考えられ、購買意欲が若干高まっている傾向にある。
		旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・当地域にある大手自動車メーカーは生産が非常に好調で、販売も好調である。そのため、企業城下町である関係から、皆が何となく陽気になっているようである。
		旅行代理店（所長）	来客数の動き	・この時期の一番の客である関東近県の小学校の修学旅行団体が、ほぼ順調にきている。日本人の訪問数が期待以上に伸びていないことが一番心配だが、外国人の訪問も少しずつ伸びてきているようである。
		旅行代理店（営業担当）	販売量の動き	・夏の旅行シーズンを迎えようとしているため、旅行の個人消費は上向き傾向である。
		ゴルフ場（副支配人）	来客数の動き	・当ゴルフ場は3月に再開した。やはり3月は少し寒い状態が続いていたが、今は大分季節も良くなり、来場者数も増えている。
		ゴルフ場（業務担当）	来客数の動き	・前年は東日本大震災の影響があり、前々年比では来場者等についてはほぼ横ばいという状況まで戻ったため、やや良くなっている。
		その他サービス [フィットネス クラブ]（マネージャー）	お客様の様子	・当店の近くにある大手自動車メーカーの期間社員が多くなり、その入会が増えている。
		住宅販売会社 （従業員）	販売量の動き	・戸建の販売は思わしくないが、集合住宅の販売が棟数で戸建を上回る勢いで推移しており、受注数は伸びている。さらに店舗建築も順調で、来年3月期までの仕事の確保は終わっている。
変わらない		商店街（代表者）	お客様の様子	・夏のキャンプ用品の学校販売でも、先輩の使用した物や家にある物を借りるなど、なるべく買わない人が多い。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・買物をする時、少し前のように節約、節約という雰囲気は薄れてきているようである。
		一般小売店[精肉]（経営者）	お客様の様子	・梅雨に入ってじわじわと暑さが進んでいるが、暑いと思えば急に気温が下がってしまい、体の調整がなかなかうまくいかない。客は何を食べていいか、これで迷っており、動かなくなっている。
		一般小売店[家電]（経営者）	販売量の動き	・エアコン、冷蔵庫と、夏に強い商材がなかなか伸びてこない。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・天候が不順で夏物が盛り上がらない。
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・3か月前と比べ、個々では中元商戦は出足が悪く、婦人衣料も不振だが、総体としては大差がない。
		百貨店（店長）	来客数の動き	・売上が大きく落ち込むこともないが、伸びも少ない。
		スーパー（経営者）	競争相手の様子	・ディスカウント志向は変わらず進行している。
		スーパー（総務担当）	来客数の動き	・来客数は前年比微減の状況が続いている。
		スーパー（統括）	販売量の動き	・食品は客数は前年並みだが、大雨や台風の影響で農産物の価格が高騰気味で、1人当たり買上点数が減少している。また、平均気温が前年を下回っており、衣料品は中旬まで前年を上回っていた機能性肌着、クールビズ商材の動向が弱まっている。

コンビニ（経営者）	来客数の動き	・前年の今ごろはチケットが大量に売れたため、売上は前年比1割ほど下がっている。また、雨が降ることで客足が前年比7%ほど落ち込んだが、3か月前と比べるとほとんど100%と変わらないため、まずは安心というところである。
コンビニ（経営者）	販売量の動き	・経営している3店舗とも売上の前年割れである。昨年の東日本大震災後は優先的に商品が卸されていたこともあってタバコが前年比94%と大きく割り込んでいる。ただし、タバコを除く売上は前年比100%前後で、変わらない。
衣料品専門店（店長）	販売量の動き	・売上は前年比で20%減少している。
家電量販店（営業担当）	販売量の動き	・オリンピックまで1か月だが、テレビや録画機器の動きが良くならない。
乗用車販売店（販売担当）	来客数の動き	・イベントをすると、今までとは全く比べ物にならないほど客が増えている。とにかく以前より客の動きは多くなっているがなかなか条件が厳しくて決まらない。
乗用車販売店（販売担当）	来客数の動き	・来客数は毎月さほど変わらないが、販売部門の車を買いに来るほうの客が極端に減り、修理部門の客は逆に増えている状態である。大きな買物までお金が回らないようで、修理部門のほうが忙しくなっているということから、景気は横ばいのような状態である。
住関連専門店（統括）	販売量の動き	・天候の不順により、季節商材の販売数が前年に比べてマイナスとなっている。
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・宴会予約、来客数は共に多少増えている。特に予約客が増えている。
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・ここ何か月か来客数がほとんど変わらず、増えている月はない。大体ほぼ同じか、あるいは少し減っているかという状況である。
スナック（経営者）	来客数の動き	・一番悪い状態で現状維持という感じである。これ以上落ちようがないのかもしれない。
観光型ホテル（営業担当）	来客数の動き	・個人客はネットでの申込が増え、低価格なプランに偏っている。ツアーは安価なものが売れ、来客数は微増だが、売上が伸びない。
旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・低価格の商品に注目が集まっている状況は変わらない。
旅行代理店（副支店長）	お客様の様子	・特に主だった動きはないが、海外旅行の受注が少しずつだが良い傾向になってきている。しかし、国内旅行は発生が遅く、ツアーの集客も悪い。
通信会社（経営者）	販売量の動き	・新規顧客の引き合いは増えてきたが、現行取引先の新規受注が一向に進まない。新規顧客は売上確保のためのWEB進出案件がほとんどである。行政外郭系も予算の動きで発注を控えている様子がある。
通信会社（営業担当）	お客様の様子	・賞与の影響で一時的に消費が高まるものの、消費税増税の議論などによって今後の不安感が高まり貯蓄に回るため、変わらない。
通信会社（局長）	お客様の様子	・販売数量は、3か月前と比較するとやや上昇しているが、これは販売努力やキャンペーンが奏功しているものである。客の様子を見る限りでは景気の変化を感じない。むしろ支払困難者の数が微増傾向にある。
テーマパーク（職員）	来客数の動き	・放射能による風評被害により、一部の学生団体の訪問が中止になっている。
遊園地（職員）	来客数の動き	・3か月前と比較すると、来客数に大きな変動は見られない。3、6月共に週末の悪天候の影響があり、来客数の動きが良いとは言えない状況である。
競輪場（職員）	お客様の様子	・来場者数、購買単価とも、ほとんど変化が見られない。
その他レジャー施設 [アミューズメント]（職員）	単価の動き	・客数が大きく減っているわけではないが、客単価が減っている。ネットカフェやゲームコーナーは滞留時間が短いことによって、客数は変わらないものの、合計売上が少し減りつつある状況が続いている。
その他サービス [清掃]（所長）	それ以外	・消費税増税の議論など景気が悪くなる問題が多く、無駄な買物は控えることが定着しているため、大きな変化は見られない。
設計事務所（経営者）	来客数の動き	・公共工事などの受注はあったが、民間工事は小規模のものが多く、まだ仕事量は少ない。
設計事務所（所長）	お客様の様子	・客は来るものの、なかなか受注に結び付かない。月末には焦りも出て、思うように成果が出ない。

	設計事務所（所長）	競争相手の様子	・官民共に仕事の発注量が少ない。官発注業務の入札では、ある自治体では予定価格を公表して入札会を開催している。低価格入札防止のために最低限度額を設定しているが、過去の実績から予定価格の60%が最低限度額と分かっているため、多くの入札者、競争相手はその限度額で入札する。そのため、同額による抽選を行い決定しているのが実情である。それほどまでしないと仕事の確保ができない。
	設計事務所（所長）	お客様の様子	・福祉関係者からの問い合わせはあるが、昨年度からは認可件数が減少していることもあり、実現には至らない。
	住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・今月の来客数は減少し、別荘に関する問い合わせも少ない。
	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・悪い状況は相変わらず変わらない。売買物件でも賃貸物件でも、客からの問い合わせが非常になくなってきている。動きが悪いのか客自身に関心がないのかは分からないが、本当に引き合いの数が少なくなっている。
やや悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・学校の臨海や登山など、水着の販売をしているが、今年はやはり景気に左右されているのか、客が大分減ってしまい、想定して仕入れた以下の物しか売れていないため、大分悪い。
	商店街（代表者）	単価の動き	・例年に比べて、客数は同じだが客単価が落ちている。
	商店街（代表者）	来客数の動き	・夏物の買換え需要もあり、本来なら売行きはともかく下見客ぐらいは来てもいいと思うが、それすら少ない。
	一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・展示会をやっても客の反応は鈍く、記念品や目玉商品に釣られることもなく、購買意欲が見えない。季節商材も天候に左右され、動きが鈍い。ボーナスの時期になってもボーナスを商品の購入に充てる様子がない。
	一般小売店〔青果〕（店長）	来客数の動き	・いつもと同様、極端に来客数が減少している。来店した客も1点当たりの買上数が少なく、単品買いや必要な物だけという状態である。
	百貨店（総務担当）	販売量の動き	・婦人衣料は前年比77%と振るわず、寒さが行ったり来たりでなかなか夏にならない。食品も同88%と伸び悩んでおり、中でも中元商品の落ち込みが酷く、同72%となっている。伸びているのはビールくらいで、ビールだけの売上が同132%であり、中元全体では同84%である。単価も5,000円～10,000円が65%と落ち、2,000円～3,000円が95%で保っているが、全体的には落ちている。
	百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・今月は中盤以降、堅調に推移してきたファッション衣料、雑貨を含め各商品群とも軒並み前年割れとなっている。また、中元ギフト商戦が始まったが、同様に厳しい状況である。
	百貨店（店長）	お客様の様子	・昨年は東日本大震災後、絆のキーワードと共に中元の動きが早く、とても良かったが、一転して、今年は非常に慎重になっているようである。
	スーパー（店長）	販売量の動き	・食品を余計には買ってもらえなくなっている。一部の目玉商品を除けば、広告商品でさえ売行きが悪い状況である。1点あたり単価が上がっているのは、買って失敗しない物を選んでいるようである。
	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・リニューアルオープンしてちょうど1年がたった。1年間は好調だったが、2年目の今月は悪く、前年を超えていない。
	コンビニ（店長）	競争相手の様子	・近所に同業他社ができた影響が出ている。また、スーパーの営業、販売の形態が若干変わったことで、今のところ客がそちらに殺到しているため、その影響で今月はかなり悪くなっている。
		衣料品専門店（販売担当）	お客様の様子
	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・エコカー補助金制度の効果も大分薄らいで問い合わせも減少しており、それに伴って販売台数も減少傾向にある。

	乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・3月が最大需要期のため、その後の販売量は減っている。
	乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・政府のエコカー補助金で販売台数は堅調だが、受注台数は減少傾向で推移している。
	乗用車販売店 (統括)	来客数の動き	・エコカー補助金の効果が薄くなってきているようである。
	住関連専門店 (仕入担当)	販売量の動き	・去年は節電夏商材の動きが活発であった。その代表例が扇風機だが、現状では数量ベースで前年比50%以下であり、平年と比べても20%以上落ちている。節電に対する意識は高まっているが、気温や湿度が梅雨入り後あまり上がらず、季節商材のマイナスがそのまま営業数値減につながっている。
	高級レストラン (店長)	来客数の動き	・当店はオフィス街にあるため、今までは昼は食事に出るサラリーマンやOLがほとんどだったが、ここ数年、外食に出る人が極端に少ない。皆、お弁当や社員食堂、コンビニなど少しでも安い所に流れている。
	都市型ホテル (支配人)	来客数の動き	・福島第一原子力発電所の事故による風評被害の影響で、観光客を中心に団体客の回復はまだ整っていない。特に外国からのインバウンドの予約は激減したままである。
	都市型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・中核都市だが、6月に入ると農業の繁忙期になり、田植えなどいろいろな形で多忙になって、そちらを中心に動いているようで、非常に客の出入りが少なくなっている。
	都市型ホテル (営業担当)	販売量の動き	・客の予約、稼働が少し減少傾向にある。また、1つのホテルはある程度高い稼働があるが、復旧関係の、原子力関係などの団体宿泊があるため、それを除けばやはり少し落ちている。
	タクシー運転手 タクシー(経営者)	お客様の様子 お客様の様子	・景気高揚感がないため、やや悪くなっている。 ・昼も夜も動きは悪いが、今月は特に深夜の動きが悪く、前年同月比17%の減少である。
	通信会社(販売担当)	来客数の動き	・携帯電話販売について、新商品が6月末から発売されるため前半買い控えがあって、集客がうまくいかず、前年比80%程度とやや悪くなっている。
	ゴルフ練習場 (経営者)	競争相手の様子	・売上が低迷しているなかで、同業他社が廃業又は業種転換をしている。
	ゴルフ場(支配人)	来客数の動き	・天候は不安定だったが、数々のコンペを企画し、何とか集客を図ったものの、客単価は依然として落ち続けている。
	美容室(経営者)	来客数の動き	・個人店の来客数が少ないため、店を閉めて従業員として店に入る人の話を最近よく聞くようになっていいる。個人店の売上は非常に厳しくなっている。
	その他サービス [立体駐車場] (従業員)	販売量の動き	・来客数、単価共に横ばいで依然として低迷しているため、販売量、売上も横ばいである。客の買い控えや店内の利用等、各テナントの利用状況は5~6%くらいずつ落ち込んでいる。客の支払や駐車場の利用料金では、サービス券の利用枚数が依然として多くなっている。使用制限や利用方法を非常に考えて敏感に動いているため、伸び悩んでおり、やや悪くなっている。
	住宅販売会社 (経営者)	来客数の動き	・4月から徐々に減少し、特に今月に入って少なくなっている。例年、賞与月はその年の状況から将来を判断するため、賞与を受け取ってから動きがある。例年どおりであれば下旬から動きが出てくるのを待つだけだが、不安材料ばかりで良くなる要因が見つからないため、やや悪くなっている。
悪くなっている	一般小売店[衣料] (経営者)	販売量の動き	・当地域もかなり悪くなっている。観光客の減少が75%くらいに戻ったとよく聞く。観光関係が悪いことと併せて当店の商品もなかなか売上は増えていない。
	衣料品専門店 (経営者)	販売量の動き	・消費税8%、10%になったら、中小の小売店はやっていけない。
	家電量販店(店長)	販売量の動き	・去年は地上デジタル放送化に向けての駆け込み需要があったため、売上は前年比60%程度になっている。
	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・全く上向きになる要因が見つからない。
	スナック(経営者)	お客様の様子	・本当に1か月が早い。忙しくて早いのがいいが、とまかく暇な状態であり、原因が分からない。
	観光型ホテル (経営者)	来客数の動き	・1~3月は東日本大震災前の状態に戻ったような感じはしたものの、4~6月は前々年比で来客数及び売上が大幅に下回っており、現在は非常に厳しい状態である。

企業 動向 関連  (北関東)	良く なっている	その他製造業 [環境機器] (経営者)	受注量や販売量 の動き	・環境装置(スプレー缶、ガス缶、ライター等発火性 危険物処理の装置)の開発、製造、販売の中で、リース 販売をしているが、実際は直接の整備保障付レンタル としたビジネスモデルになっているため、良くなっ ている。
	やや良く なっている	化学工業(経営 者)	受注量や販売量 の動き	・東日本大震災復興の影響が確実に出てきて、受注が 増加してきている。
		一般機械器具製 造業(経理担 当)	受注量や販売量 の動き	・当社は電動工具の部品を作っているため、復興需要 でやや良くなっている。
		輸送用機械器具 製造業(経営 者)	取引先の様子	・取引先が10社ほどあるが、景気の良い会社のほうが 仕事量、販売量が減っている会社よりやや多い状況で ある。
		広告代理店(営 業担当)	受注量や販売量 の動き	・販売促進ツールのリニューアルや、新規作成の依頼 が増えてきている。新年度になって、ようやく経費を 使う状況となってきている。
	変わらない	食料品製造業 (営業統括)	競争相手の様子	・地域ごとにワイナリーツアーを企画して来客増を 図っているが、例年と比較して著しい増加は見られな い。
		窯業・土石製品 製造業(経営 者)	受注量や販売量 の動き	・受注、販売のいずれも低迷しており、動向も厳しい 状態である。
		窯業・土石製品 製造業(総務担 当)	受注価格や販売 価格の動き	・依然として低迷が続いている。
		金属製品製造業 (経営者)	取引先の様子	・産業機械、特装車両とも、前年同時期より高い受注 量で安定している。夏の電力不足の影響もあまりない と見ており、この先3か月間は取引先の生産量は落ち ない様子である。
		金属製品製造業 (経営者)	受注量や販売量 の動き	・得意先の受注量が安定していない。
		電気機械器具製 造業(経営者)	受注量や販売量 の動き	・多種少量だが仕事の確保ができており、細かな開拓 の成果が出ている。選ばなければ、仕事は結構ある。
		金融業(経営企 画担当)	取引先の様子	・建設業、製造業などの売上が増加していない。
		金融業(調査担 当)	取引先の様子	・国内は復興需要に伴って景気の持ち直しが期待さ れ、上向きの判断となるが、海外では欧州の信用不安 への不透明感があり、需要鈍化の動きも見られる。企 業も二極化しており、方向感を見いだすににくい局面に ある。
		新聞販売店[広 告](総務担 当)	受注量や販売量 の動き	・チラシ出稿量は97.9%と昨年を下回ってしまってい る。エコカー補助金枠の終了間近の駆け込み需要もあ るが、それでも及ばない状況である。
		経営コンサル タント	取引先の様子	・業種により業績は様々であり、企業によっては数年 先を見越した設備投資を計画しているところもある。
司法書士		受注量や販売量 の動き	・微増微減の繰り返しで大きな変化は認められな いが、低いところで安定しているという残念な様相であ る。	
社会保険労務士	取引先の様子	・イベントなどでの売上は順調だが、日常の売上は今 一つ良くない事業所が多い。		
その他サービ ス[情報サー ビス](経営者)	受注量や販売量 の動き	・引き合い、受注量とも特段の変化は見られない。客 からは中小規模案件が多くなっている。情報化投資を 抑えているようである。		
やや悪く なっている	食料品製造業 (製造担当)	競争相手の様子	・今年になってから販売数量も落ち込み、ここ数か 月で数百万の赤字になる。売上が落ち込んでいること、 原材料費の値上げが主な原因である。	
	一般機械器具製 造業(経営者)	受注量や販売量 の動き	・新型自動車向けの仕事に関してはフル生産が続く が、油圧機器、建設機械関連の仕事の動きが非常に鈍 く、売上が積み上がらない。	
	電気機械器具製 造業(経営者)	受注量や販売量 の動き	・東日本大震災での特需が一段落し、3か月前より受 注が落ちている。	
	電気機械器具製 造業(経営者)	受注量や販売量 の動き	・過去3年間の5月の売上を見てみると、過去最低を 記録している。今年に入って一番の時から見ると、5 月が3割減であり、6月がまたそれを更新するかどう かという瀬戸際で、売上が急激に落ちてきている。	

		輸送用機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・主力取引先である自動車メーカーからの生産の3か月見通し上では、前月と比べると若干量が落ち始めている。また、3か月先についても量が不確定であり、少しずつ落ち始めていることがやや気掛かりである。特に7月以降、エコカー補助金の打ち切りなどを含めると、どうも下降に入っているようである。一方で電気料金の値上げもあるため、少し厳しい状況になってきている。
		その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・展示会を開催したところ、個々の買上は意欲的で客単価は上がったものの、来客数は10%減少し、購買意欲の差が歴然としてきている。
		輸送業（営業担当）	取引先の様子	・原子力発電所の停止も伴い今年も電力不足が予測されるなか、天候不順もあって気温が低く、夏場の節約家電である扇風機、サーキュレーターの動きが前年と比べ、予測より大分鈍く、落ち込んでいる。インターネット通販向けの物量は伸びているものの、全般的には前々年あたりの物量であり、売上等は落ちている。
		金融業（役員）	競争相手の様子	・親企業のほうは仕事の受注が取れているようだが、下請は受注がないためにパイの奪い合いをして価格競争に陥っているため、極めて利ざやが縮小している。
		不動産業（経営者）	取引先の様子	・設備投資の計画が流れている様子が見られる。
		不動産業（管理担当）	受注価格や販売価格の動き	・今年度に管理費用を下げられたにもかかわらず、今まで別の見積で行っていた業務を同一の管理費用の中でやって欲しい、追加費用なしに昼間やっていたものを夜間にやって欲しいなど、仕事は増えるが売上は増えない要求があり、結局利益を削減してやるしかない状況である。
	悪くなっている	建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・公共工事主体で土木、舗装工事を行っている。6月受注額は前年比43%減額になり単月では厳しい月だったが、累計金額では2%減にとどまっている。公共工事が同額によるくじ引きの状態が続いているので、民間工事受注に力を注いでいくしかない状況である。
雇用関連	良くなっている			
(北関東)	やや良くなっている	人材派遣会社（経営者）	求職者数の動き	・今までにないような仕事が次々と入ってきて、急に忙しくなっている。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・事業主都合による離職者の減少が大きな要因か、緩やかではあるが求職者数が減少している。また、在職者及び無職の方の求職申込状況にも落ち着きが感じられるようになっている。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・新規求職者数、相談件数等は減少傾向にあるが、受給者は微増である。求人数は同水準のため、若干だが上向きである。
変わらない	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・自動車関連は落ち着いた様子で、部品関係、電子部品、自動車部品等の製造関係の募集は、ほぼ横ばいというより、数字的には少ない募集内容である。ただ一般的な小売サービスの衣料品雑貨、日用品等の小売、衣料はやはり夏物に向けての準備で幾分上向きの状態と見られる。住宅関連については、ほぼ横ばいか、どちらかという落ちている様子であり、募集傾向はとどまっているところである。	
		求人情報誌製作会社（経営者）	求人数の動き	・求人数は多少増加傾向であるが、業種により偏っていて、全般的に見ると求人募集企業は少なく、厳しい。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は前年比で4割増えているが、被災者に限定したものの割合も多く、また求職者が希望する製造業も極端に少ないため、就職につながりにくくなっている。
やや悪くなっている	人材派遣会社（営業担当）	雇用形態の様子	・株安、欧州の信用不安、夏の電力需要の不安定により、やや悪くなっている。	
	人材派遣会社（管理担当）	採用者数の動き	・応募人数に対して採用数が減っている。例えば、10名募集、20名面接、5名採用と、採用条件が厳しくなっている。	
	悪くなっている			